

## 第 24 期 pES club シナリオ 2

2025 年 2 月 9 日

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、女戸線診療所で研修中の 1 年目初期臨床研修医です。今日は初診外来を担当しています。

Michael Osugi さん (21 歳男性) はアメリカからの留学生です。一昨日の朝から喉が痛く、咳が出始め、昨日の夕方には 39℃の熱も出ました。今朝になって咳が止まらなくなり、食事が摂れなくなるほど辛くなったため、当院の初診外来を受診しました。

身体診察では、咽頭は軽度発赤、胸部聴診上肺雑音は聞かれませんでした。COVID-19/インフルエンザコンボキットおよびマイコプラズマ迅速抗原検査の結果は陰性でした。

あなたは、指導医の楠力雷先生に病状を報告しました。

楠力 「で、診断は？」

あなた 「ただの風邪だと思います」

楠力 「それにしても症状が重そうだね。咳が出ていることを考えると、インフルエンザやマイコプラズマを考えないといけないね」

あなた 「どちらも検査は陰性でした」

楠力 「いまインフルエンザはほとんどいなくなったね。でもマイコプラズマはとても多いから、マイコプラズマの可能性はあるよ」

検査が陰性なのにマイコプラズマの可能性があるのか疑問に思ったあなたは、マイコプラズマ迅速抗原検査の結果をどう解釈すればいいか、考えてみることにしました。